

平成26年度 第2回拡大幹事会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 平成27年1月16日（金）15時00分～17時40分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2F会議室
3. 出席者 島弘, 橋本親典, 甲斐芳郎, 横井克則, 水越睦視, 氏家勲, 古田満広
(オブザーバー) 新居宏美 計8名
4. 配付資料
資料2-0 議事次第, 出席者名簿
資料2-1 平成26年度第1回拡大幹事会議事録(案)
資料2-2 平成26年度活動状況および今後の予定
資料2-3 平成27年度収支予算(案)・事業計画(案)についての留意事項(本部からのメ
ール), 平成26年度収支決算(案), 平成27年度収支決算(案)
資料2-4 平成27年度事業計画(案)
資料2-5 JCI本部理事会資料(一部抜粋)
資料2-6 平成26年度支部役員名簿
資料2-7 本部・支部関連委員等一覧表
資料2-8 四国コンクリート懇話会収支計算書
資料2-9 本部代議員選挙開票結果報告

5. 審議事項

島支部長より拡大幹事会開催に当たり挨拶があり, その後, 各議題について審議が行われた。審議結果は, 以下のとおり。

(1) 平成26年度第1回拡大幹事会議事録の確認 (資料2-1)

研究委員会活動を早くスタートさせる方策についての記述を議題(2)の①の最後尾に移動することとし, 平成26年度第1回拡大幹事会議事録(案)が承認された。

(2) 平成26年度事業報告案および収支決算案について (資料2-2, 2-3)

事務局より平成26年度事業報告案および収支決算見込み案について説明があり, 以下のとおり対応することになった。

- ・ 「塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会」の活動が本年度で終了する。支部研究委員会では研究成果として, 報告書の発行, あるいは報告会の開催が原則必須である。2月2日開催の役員会において島支部長より松島委員長に今後

の予定について確認することになった。

- ・ 平成 24 年度、25 年度に活動した「鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会」の成果報告について確認した結果、甲斐委員長より報告書作成段階であり、事務局に製本を要請する予定であるとの報告があった。

島支部長より、本研究委員会は勉強のために講習会を開催しただけであり、研究・調査は行っていない、報告書として製本する必要はないのではとの意見が出され、対応を以下のとおりとした。

これまでの活動を取り纏め、総会で回覧する。その後支部の HP にアップする。

- ・ 年次大会 2014 還元金 2,125 千円を含めた平成 26 年度収支決算見込み案が確認された。

(3) 平成 27 年度事業計画案および収支予算案について (資料 2-3, 4)

事務局より平成 27 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり対応することになった。

【事業計画案】(資料 2-4)

① 拡大幹事会、役員会、総会

拡大幹事会、役員会および総会の日程が確認された。

② 研究委員会

- ・ 「塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会(松島委員長)」の活動が平成 26 年度で終了するので、新年度より新たに研究委員会をスタートさせる。
- ・ 新たな研究委員会として「四国版コンクリート構造物のインフラドッグ制度に関する調査研究委員会(委員長：徳島大学渡邊先生)」の説明が橋本幹事よりあり、設置を承認した。なお、名称について以下のとおり修正してはとの意見があり、渡邊先生に提案することになった。

名称修正案：「四国のコンクリート構造物インフラドッグ実現に向けた調査研究委員会」

- ・ 委員会活動を十分に確保するため、委員公募をコンクリート工学誌 5 月号に掲載し、5 月末締め切り、6 月より活動を開始するよう渡邊先生に要請することになった。
- ・ 島支部長より平成 27 年度で 2 件の研究委員会活動が終了するので、平成 28 年度にスタートできるよう建築関係の研究委員会の準備について甲斐幹事に対し要請があった。

③ 講演会・講習会など

講演会・講習会の日程内容等が確認された。なお、支部総会における特別講演の講師およびテーマについては橋本幹事に一任する。平成 27 年度の生コンセミナーは、徳島地区になる。

④ 見学会

NEXCO 案の高松自動車道見学で準備する。

⑤ 本部関連行事

古田幹事よりコンクリート診断士・技士試験関連の予定について説明があり、日程等が確認された。

⑥ コンクリート教育の助成

- ・ 高校への助成は、これまでの実績から愛媛県の高校とし、松山青陵高校を第一候補とする。窓口を氏家本部理事とする。
- ・ 第9回コンクリート甲子園へ5万円助成する。

⑦ ホームページ運営、会員増強については、これまでどおりの方針とする。

⑧ その他

四国支部設立10周年記念事業として講演会を開催する方向で検討することとし、2月の役員会で再度審議する。

【収支予算案】（資料2-3）

- ・ 四国支部設立10周年記念事業として開催予定の講演会の予算を含め、講演会・講習会費を前年度比80万増の100万円とする。
- ・ 予算案は承認された。

（4）本部理事会の報告について（資料2-5）

氏家本部理事より、平成26年10月および12月に開催された定例理事会について報告があった。概要は、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格の登録」（国土交通省）のコンクリート診断士を申請するには、資格の取り消し規定が必要なことからコンクリート診断士制度規則の改正について審議したこと、併せてコンクリート技士制度規則の同様に改正することを審議したこと等である。

（5）平成27年度・28年度四国支部役員について

平成27年度総会において役員の改選が行われるので、次期役員(案)を以下のとおりとした。

- ・ 島支部長を常任委員とする。
- ・ 次期支部長を役員会で推薦する。
- ・ 香川大学松島幹事を常任委員とする。
- ・ 香川大学吉田常任委員を幹事とする。
- ・ 徳島大学上田常任委員を幹事とする。
- ・ 徳島大学渡邊先生を新たに常任委員とする。
- ・ 水越監事は留任とするが、今後は支部長、あるいは本部理事経験者が監事になることを基本方針とする。
- ・ その他の役員については、役員会で確認する。

(6) 本部関連委員について(資料2-7, 9)

本部関連委員について古田幹事より説明があり, コンクリート技士試験の統括責任者を平成27年度から香川大学吉田常任委員に変更することが確認された。

また, 本部代議員選挙結果について古田幹事より報告があった。

(7) 四国コンクリート技術懇話会について(資料2-8)

四国コンクリート技術懇話会のこれまでの収支および今後も適切に支部活動の補助金として使用することが確認された。

(8) その他

四国支部設立10周年記念事業として, これまでの支部研究委員会活動を紹介してはとの意見が出された。

以上

(記録者: 古田 満広)